

今回のテーマ

防災への取り組み

安全・安心に向けた取り組みが活動の柱です!

Q. 町議として最も重点を置いて取り組んでいることは?

議員として7年目を迎えましたが、住民の安全・安心を守るという初心を常に忘れることなく、粘り強く取り組んでいます。

昨年6月、過去3度にわたり議会場で提言してきた「災害時相互応援協定」を4市町(岩手県平泉町、東京都立川市など)と締結することができました。災害時相互応援協定の必要性は東日本大震災発生以前から訴えていましたが、震災発生時に、釜石市と災害時相互応援協定を結んでいる東海市が、いち早く被災地に駆けつけ、支援にあたったことが注目を集めました。この協定を結ぶことにより、災害発生時の救援物資などの援助は当然のことながら、被災地の行政機能を麻痺させないために職員を派遣するという支援も行われます。また、幸田町は内陸の町であること、断層があるということで共通点のある自治体と協定を結んでおり、合同での勉強会や情報交換などを通じ、防災力強化に繋がっています。

Q. 政府から南海トラフ地震の被害想定が発表され、

防災への意識が高まっています。

私たちに求められることは何でしょうか。

災害発生時には、「公助」、いわゆる行政でできることには限界があり、住民自身が日頃から災害に備える、自分の身は自分で守ることが必要になります。災害の発生を防ぐことはできませんが、減災対策により被害を減らすことは可能です。私が行政に強く要請しているのは、誰でも手軽にできる「シェイクアウト訓練」※の導入です。訓練方法はいたってシンプルで、指定された日時に、家庭や職場、外出先など、それぞれの場所で地震から命を守るための3つの安全行動を約1分間行います。この訓練はいざという時に命を守る行動を身に付けることができ、また、定期的に行うことにより防災意識の向上に繋がります。

今年度は防災対策特別委員会 **コラム特別** の所属ということもあり、公助の面での充実は今後も力強く訴えてまいります。災害による被害を防ぐためには、自分のことは自分で守る「自助」が防災、減災の基本になります。いざというときに困らないように、非常持ち出し品の準備や家屋の耐震改修、家具の固定など、日頃から身の回りの安全対策を取っていただきたいと思っています。

※シェイクアウト(ShakeOut)訓練は、2008年、防災関係者らの発案でスタートした米国最大の防災訓練。命を守る3ステップ。1.しゃがむ(DROP) 2.かばる(COVER) 3.まつ(HOLD ON)のこと

幸田町議会

さこう弘康 議員に聞きました



議員と話を!

私たちの仕事や暮らしに私たちの代表がどう関わっているのかを毎回テーマを変えて組織内議員に話していただきます。



COLUMN

議会の中にある「委員会」ってなあに?

議会の仕組みの1つです。行政の仕事は範囲が広く、複雑で専門的ですので、これらをいくつかの部門に分けて、専門的かつ詳細に審議・調査するのが委員会の役割です。議員はいずれかの委員会に所属しています。

常任委員会

常設されている委員会で、議案や請願を詳細に審査し、また、自治体の事務を専門的に調査します。

議会運営委員会

議会の円滑な運営を行うために常設置かれている委員会で、議事の順序や進め方などを協議します。

特別委員会

特定の問題を審査又は調査するために必要に応じて設置される委員会です。

私の所属している委員会は以下の通りです。
常任委員会:産業建設委員会(委員長)
特別委員会:防災対策特別委員会、議会広報特別委員会

今回は、委員会の仕組みを紹介します。



みなさんの「安全・安心」を守ることが私の役目です!



委員会の仕組みはこうですよ。

なるほど~